

■新型コロナウイルス感染者

国内での確認 23万1371人(+3841)		死者3443人(+59)		
感染者	死者	感染者	死者	
北海道	13275(+133)	448	阪 29752(+307)	570
森	459 (+6)	8	庫 9822(+188)	209
手	382 (+2)	24	良 1931(+30)	24
城	2165 (+34)	16	山 608 (+7)	7
田	136 (+4)	1	島 111	
形	382 (+4)	6	岡 208	
島	924 (+17)	20	広 1340 (+32)	15
木	2418 (+37)	36	山 3232 (+84)	29
馬	1405 (+56)	6	島 572 (+11)	3
玉	2278 (+56)	43	徳 196 (+1)	9
葉	13984(+244)	206	香 301 (+5)	3
京	10841(+218)	117	愛 457 (+12)	13
奈	58840(+944)	622	高 654 (+12)	6
川	20675(+432)	273	福 8774(+189)	119
井	533 (+12)	3	佐 460 (+3)	3
梨	553 (+3)	26	長 626 (+15)	4
野	1064 (+14)	50	熊 1843 (+44)	17
豊	353 (+3)	11	大 667 (+13)	5
岡	561 (+13)	11	宮 739 (+12)	6
知	1164 (+23)	15	鹿 1006 (+13)	14
重	2209 (+67)	33	児 5313 (+47)	81
賀	2658 (+46)	41	島 繩	
都	16333(+294)	209	コスタ・アトランチカ(長崎)	
1273 (+25)	17	149人		
1160 (+27)	11	空港検疫など 1871人(+6)	1	
4699 (+96)	52	チャーター機 15人		

入院・療養中	3万2629人(+785)	ダイヤモンド・
うち重症	668人(-7)	プリンセス(横浜)
退院者合計	19万125人(+2520)	723人 死者13人

総数 23万2090人(+3841) 死者 3456人(+59)

30日午後8時現在。入院・療養中と退院者合計は30日午前0時現在。カッコ内は前日最終集計との比較。総数には厚労省の発表も含み、一部重複の可能性がある。再陽性は延べ人数で計上

週間を必要とするため、より強い対策をただちに実行する必要がある」と都に促した。(荻原千明、岡戸佑樹)

「医療破綻の危機」

都、新たに944人確認

東京都の小池百合子知事は30日の臨時の記者会見で、「年末年始で感染を抑えなければ、緊急事態宣言の発出を国に要請せざるを得なくなる」と述べ、不要不急の外出や帰省、飲み会の自粛などの徹底を都民に求めた。同日開かれた都の会議で、専門家が医療提供体制が破綻する可能性を指摘し、対策強化を促していた。この日の都内での感染者は過去2番目に多い944人が確認された。こうしたことは会見で「いつ感染爆発

が起きててもおかしくない、さらに誰が感染していてもおかしくない。この年末年始は、感染拡大を食い止められるか否かの分水嶺」と訴えた。一方、同日開かれた都のモニタリング会議では、都医師会の猪口正孝副会長が「このままの(感染)状況でいくと、(医療提供体制が)破綻の危機に瀕する可能性が非常に高い」と述べた。

新規感染者について、現在の週平均の増加比約1.2%が2週間継続すると、1日あたり約1136人に

なると分析。陽性者の入院率(25%)が変わらない場合、2週間後の入院患者は4828人に達するとの試算を公表した。都が現時点で確保している新型コロナ患者用の病床3500床だけではなく、医療機関に確保を要請している4千床も超える可能性があると指摘した。「感染拡大防止策の効果が出始めるには、2、3

週間を必要とするため、より強い対策をただちに実行する必要がある」と都に促した。(荻原千明、岡戸佑樹)

大阪の「第3波」死者急増

「医療崩壊近い」

30日まで250人 東京の倍

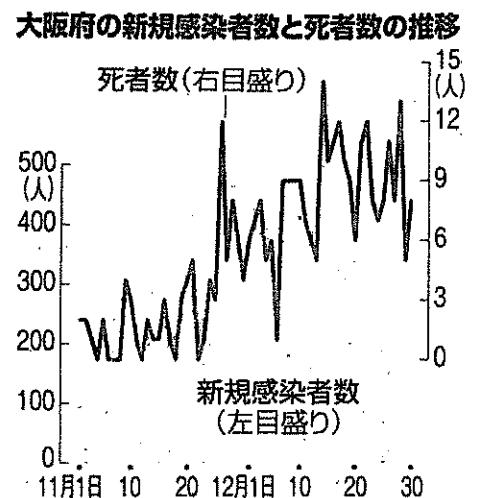
新型コロナウイルスの「第3波」で大阪府内の死者が急増している。12月は30日発表までで2550人。月別で最多だった11月の3倍を超えた。感染者数が全国でもっとも多い東京都と比べても約2倍。府内は高齢者施設が多く、クラスター（感染者集団）の発生も相次いでおり、府は危機感を強めている。

多い高齢の感染者

大阪で確認した12月15日の新規感染者は941人で死者は250人。東京の新規感染者は全国でもっとも多い1万7908人だが、死者は133人だった。大阪の死者は全国で2番目に多く、北海道の25人に続く。第3波の大坂

の死亡率（23日時点）は1・7%で、第2波を0・2倍上回る。

なぜ大阪の死者が多いのか。12月の死者250人の9割が70代以上。感染した場合のリスクが高い高齢の感染者が多いことが背景にある。府によると、11月29



死者が多い要因

- ◆高齢の感染者が多い
- ◆高齢者施設などでクラスター多発
- ◆高齢者施設が多い
- ◆若者と高齢者の距離が近い？

大阪府の事業所数は東京都を約400カ所上回り、全国で最も多い。別々の要因を指摘する声もある。死者の4割は感染経路不明で、府は「元気な高齢者」の間で感染が広がっているとみる。担当者は「仕事をしたり会食したりしている人が多い」と話す。

日より12月24日の年代別感染者数は、60～70代は1837人（21・7%）、80代以上は968人（11・4%）。

東京都はそれぞれ、1698人（12・3%）、784人（5・7%）となつてお

れも大阪の方が多い。

感染者が増えたのは高齢

者施設などでクラスターが

相次いだためだ。10月10日

より12月23日に66施設で発生

し、利用者や職員1211人

が感染した。高齢者施設

関連の死者は全体の4分の1を占める。

高齢者関連施設が多いと

いう事情もある。府による

と、特別養護老人ホームや

訪問介護事業所などの高齢

者施設は府内に約2万事業

所ある。利用者は延べ90万

人、従事者は延べ22万人。

厚生労働省のまとめでは、

大阪府の事業所数は東京都

を約400カ所上回り、全

国で最も多い。

別の要因を指摘する声も

ある。死者の4割は感染経

路不明で、府は「元気な高齢

者」の間で感染が広がって

いるとみる。担当者は「仕

事をしたり会食したりして

いる人が多い」と話す。

府のコロナ対応が後手にまわり、医療の逼迫につながったとの指摘もある。

府は10月10日以降、「第3波」と位置付ける。10月23日には約1カ月半ぶりに100人台の新規感染者を確認したが、11月11日まで府対策本部会議を開かなかつた。府はその間に「大阪コロナ重症センター」の開設に向けて医療機関などと看護師派遣について調整。吉村洋文知事は「8月くら

いから看護師さんの研修はしていた」とする。しかし、府の担当者は「重症患者が急激に増えるという認識ではなかつた」と振り返る。

大阪府医師会の茂松茂人会長は「第3波の急拡大は府の想定を上回つた」と指摘。「府内では地域医療の制限が始まつており、医療崩壊に近づいている」との危機感を示す。11月1日には大阪都構想の住民投票があつた。自民党大阪市議団の北野妙子幹事長は「医療スタッフが不足するのは分かつていていたこと。街宣車で賛成運動していた間、どれほど人材確保に走り回つたのか」と疑問視する。

（笛川翔平、森下裕介）